

科目分類	専門職の教育			開講学科	看護学科
科目番号	学年	担当セメスター	区分	単位数	授業時間数
11079	1	前期	必修	1	30
授業科目名 (英文)	基礎看護援助方法 I (Basic Evidence Based Practice I)				
担当教員名	○横山美樹/伊東美奈子/ 末永由理/中山純果/嶋澤奈津子				
授業の概要及び到達目標					
<p>授業概要</p> <p>本科目では、看護の対象である人の身体と生活機能を援助する目的と方法の基本的考え方について理解し、多くの対象に共通して活用される基礎的な身体と生活機能の観察および日常生活援助技術を実施・評価する力を演習を通して獲得することを目指す。</p> <p>到達目標</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 対象の基本的な身体状態、生活機能を観察、評価する方法の1つであるフィジカルアセスメントの意義を、体の仕組みと働きと関連づけて説明できる。</li> <li>2. フィジカルアセスメントの具体的な方法であるバイタルサインの観察・測定、フィジカルイグザミネーション技術（呼吸器系、循環器系）、問診・インタビューの方法を理解し、実施できる。</li> <li>3. 看護における日常生活援助技術の基本となる、対象者の安全、安楽を守る技術（感染予防、ボディメカニクス、環境を整える技術、活動と休息を整える技術、移乗・移送）について理解し実施できる。</li> </ol>					
準備学習等					
<p>予習復習について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第1～8回に関しては、テキスト「基礎看護技術」の該当ページを熟読し、各回の事前課題に取り組んだ上で授業に臨むこと。（各回約1時間必要）</li> <li>・第9～13回に関しては、「からだの仕組みと働き」の「循環器系」「呼吸器系」の授業内容、授業資料等を復習し、かつテキスト「はじめてのフィジカルアセスメント」の該当ページを熟読し、事前課題に取り組んだ上で授業に臨むこと（各回1時間程度必要）。</li> <li>・ナーシングスキルの該当箇所を視聴し、予習、復習に活用すること。（復習各回1時間程度）</li> </ul>					
成績評価の方法	筆記試験（52%）、実技試験（10%）、講義前の予習確認ミニテスト（14%）、演習前課題（演習準備状況）および参加度（24%）とし、総合的に評価する。				
テキスト	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「はじめてのフィジカルアセスメント」（横山美樹：メヂカルフレンド社）</li> <li>・「基礎看護技術 改訂第3版」（香春知永・齋藤やよい編：南江堂）</li> </ul>				
参考図書	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「看護技術がみえる①基礎看護技術」（藤本真記子他編：メディックメディア）（※）</li> </ul> <p style="text-align: center;">他 各回の授業の中で提示する</p>				

備 考	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本科目は基礎看護援助実習Ⅱ（2年次）の履修前提条件となる。</li> <li>・出席については20分以上の遅刻は欠席とみなす。</li> <li>・オフィスアワーは、履修案内の看護学科「オフィスアワー」の項をご参照ください。</li> <li>・卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連については、別途明示している各学科の履修系統図をご確認ください。</li> <li>・授業時に行うミニテストは、授業中に解答を提示しますので、各自以降の振り返り学修に活用する等、良く復習した上で試験に臨んでください。技術試験結果については、試験後担当教員よりフィードバックします。</li> </ul>
授 業 計 画	
<p>第1回：本科目のオリエンテーション、Evidence Based Practice(EBP)の意義について 看護技術の基本①感染予防 【講義】(横山、伊東)</p> <p>第2回：看護技術の基本②環境 ③ボディメカニクス 【講義・演習】(伊東、横山)</p> <p>第3回：看護技術の基本④活動と休息を整える援助 【講義】(伊東)</p> <p>第4回：体位変換、移乗・移送、ベッドメイキング、就床患者のリネン交換 の デモンストレーション 【演習】(伊東、横山)</p> <p>第5回：体位変換、体位保持、移乗・移送 【演習】(伊東、横山)</p> <p>第6回：看護におけるフィジカルアセスメント、生活機能の観察の意義 フィジカルイグザミネーションの基本技術（視診、触診、打診、聴診の技術） バイタルサイン①体温 【講義】(横山)</p> <p>第7回：環境整備、ベッドメイキング、臥床患者のシーツ交換【演習】(伊東、横山)</p> <p>第8回：問診・インタビュー（情報収集におけるコミュニケーション技術） バイタルサイン②呼吸 【講義・演習】(横山、基礎全員)</p> <p>第9回：バイタルサイン②呼吸、呼吸器系（気管・肺）のフィジカルアセスメント 【講義】(横山)</p> <p>第10回：バイタルサイン③：循環（脈拍、血圧） 【講義】(横山)</p> <p>第11回：(前半)バイタルサイン④：意識状態 (後半)血圧測定のデモンストレーション、演習 【講義・演習】(横山、全担当者)</p> <p>第12回：バイタルサイン測定・評価・報告 【演習】(全担当者)</p> <p>第13回：循環器系（心臓・血管系）のフィジカルアセスメント 【講義】(横山)</p> <p>第14回：呼吸器系（気管・肺）のフィジカルアセスメン 【演習】(横山、伊東)</p> <p>第15回：バイタルサイン測定・評価・報告 【実技テスト】(全担当者)</p> <p>※授業の進捗状況により変更する場合があります。</p>	